



ジャパンSDGsアワード
 (主催: SDGs推進本部/本部長: 内閣総理大臣)
 特別賞「SDGsパートナーシップ賞」受賞



キミカは、
地球の未来のために。

株式会社キミカ SDGs宣言

わたしたちはアルギン酸の世界的パイオニアとして、
海洋環境を保全し、持続可能な社会の実現に貢献します。



キミカは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

生活水準向上のために。

1 貧困をなくそう



海藻は需給バランスの変化で価格が大きく上下するため、チリ漁民の収入は安定せず、不安定な暮らしを余儀なくされてきました。当社は、チリの海藻調達会社2社に資本参加し、継続的かつ安定的に漁民から海藻を買い取っています。この購買方針は、投機的な海藻乱獲を抑制しただけでなく、漁民の収入を安定させて生活水準を飛躍的に向上させました。地元自治体への救急車の寄贈、近隣住民への飲料水の無償提供など、チリ現地に根付いた支援活動も展開しています。

資源の有効活用のために。

12 つくる責任
つかう責任



海藻は、成熟するとやがて岩礁から剥離し、海のゴミとして漂流、腐敗して二酸化炭素に戻ります。世界の競合メーカーが生きた海藻を大型船で刈り取って利用するなか、当社は、なにも利用されないことなく朽ち果て再び二酸化炭素に戻りゆく運命にある漂着海藻を有効活用することにこだわり、アルギン酸を製造しています。また、アルギン酸を抽出したあとの海藻残渣を捨てることなく、飼料や土壌改良材として有効活用しています。

環境負荷軽減のために。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



海藻抽出液からアルギン酸を分離する工程には、電力も濾剤も使用せず、比重差を利用した浮上・沈降分離法を用いています。海藻の乾燥・保管にはチリの乾燥帯を利用。電力も熱源も消費しません。千葉の工場の屋根には888枚の太陽光パネルを敷き詰め、チリの工場では広大な緑地でブドウの栽培も行なっています。環境負荷の小さい新型エアコンプレッサーやLED照明も積極的に導入しています。

海洋資源を守るために。

14 海の豊かさを
守ろう



1980年代から海藻資源の豊富なチリに進出したキミカ。チリ海藻産業協会の一員として、海洋資源に関するさまざまな調査活動に協力するなど、現地の漁民と共同で海藻の乱獲を防ぐ活動に取り組んでいます。海洋資源の調査結果はチリの水産管轄官庁に報告し、海藻資源保全のための法制度の整備に役立てられています。また、チリ現地の系列会社を通じて、チリ沿岸への海藻養殖も支援しています。

▼その他の取組み

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



6 安全な水とトイレ
を世界中に



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



具体的な取組みは
WEBで紹介しています

QRコード or
URLから
アクセス!



<https://www.kimica.jp/csr/>